

平成 22 年 8 月 6 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 積水工機製作所
 代 表 者 代表取締役社長 矢 澤 征 一
 (コード番号 6 4 8 7 大証第 2 部)
 問合せ先責任者 経営企画室長 湯川 浩次
 (TEL 0 7 2 - 8 5 8 - 1 1 2 1)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(連結)

(単位: 百万円未満切捨、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回(平成 22 年 5 月 14 日)発表予想 (A)	3, 0 0 0	0	2 0	1 0	円 銭 1. 07
今回修正予想 (B)	2, 3 0 0	△ 2 5 0	△ 2 3 0	△ 2 4 0	△ 25. 87
増 減 額 (B-A)	△ 7 0 0	△ 2 5 0	△ 2 5 0	△ 2 5 0	—
増 減 率 (%)	△ 2 3. 3	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3, 1 2 5	△ 3 2	△ 1 8	△ 2 1	円 銭 △ 2. 31

(個別)

(単位: 百万円未満切捨、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回(平成 22 年 5 月 14 日)発表予想 (A)	2, 2 0 0	△ 2 0	0	0	円 銭 0. 00
今回修正予想 (B)	1, 7 0 0	△ 2 3 0	△ 2 1 0	△ 2 2 0	△ 23. 71
増 減 額 (B-A)	△ 5 0 0	△ 2 1 0	△ 2 1 0	△ 2 2 0	—
増 減 率 (%)	△ 2 2. 7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	2, 1 4 0	△ 1 4 9	△ 1 3 3	△ 8 3	円 銭 △ 9. 00

2) 平成23年3月期通期の業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（連結）

（単位：百万円未満切捨、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回(平成22年5月14日)発表予想 (A)	6,400	110	150	85	円 銭 9.16
今回修正予想 (B)	5,700	△170	△130	△180	△19.40
増減額 (B-A)	△700	△280	△280	△265	—
増減率 (％)	△10.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	5,953	△145	△114	△125	円 銭 △13.54

（個別）

（単位：百万円未満切捨、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回(平成22年5月14日)発表予想 (A)	4,600	60	100	55	円 銭 5.93
今回修正予想 (B)	3,900	△240	△200	△220	△23.71
増減額 (B-A)	△700	△300	△300	△275	—
増減率 (％)	△15.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	4,200	△287	△245	△202	円 銭 △21.85

2. 修正の理由

当第1四半期の受注は、主要顧客の新車開発計画及び押出機関連の新製品開発投資が徐々に増加し、前年を上回りましたが、販売価格の低下が止まらず、売上、利益は前年を下回る結果となりました。第2四半期累計期間の業績につきましても、急激な業績の回復は見込めず、生産体制の最適化や変動原価の削減、固定費の削減、国の助成金の活用などに取り組んでいますが、売上高、利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましても、主要顧客からの引合いは徐々に増加していますが、売上高、利益とも当初予想を下回る見込みとなりました。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上